10 オプションの取り付け

はじめに

ご注意

本プリンタは、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明
メモリ（DIMM）*	256 MB, 512 MB DIMM（DDR-SDRAM, 266 MHz, 184 ピン , NoECC, アンバッファ , CL=2 or 2.5）
両面プリントユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。
給紙ユニット	500 枚給紙トレイ
ハードディスクキット	40 GB ハードディスク
プリンタテーブル	プリンタの設置場所を用意に変更できます。
長尺用紙対応トレイ	長さ 1200 mm までの長尺用紙をセットできます。
備考 : * メモリ（DIMM）については、弊社ホームページにてご確認ください。	

ご注意

オプションを取り付ける際は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

静電気防止の対策

ご注意

コントロ－ラボードは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。
最初に電源スイッチを切っておいてください。静電気防止のリストストラップがある場合は、片方の端を手首に付け、もう片方の端をプリンタ背面の金属部分につけます。リストストラップを機器に決して触れないようにしてください。プラスチック、ゴム、木、塗装された金属面は、接地面になりません。
静電気防止のリストストラップがない場合は、コントローラボードや部品を取り扱う前に、接地面に触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。また、放電後は、歩き回らないでください。再度帯電する可能性があります。

メモリ（DIMM）の取り付け

メモリ（DIMM）は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

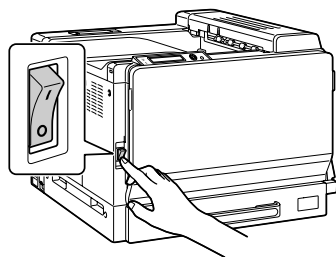
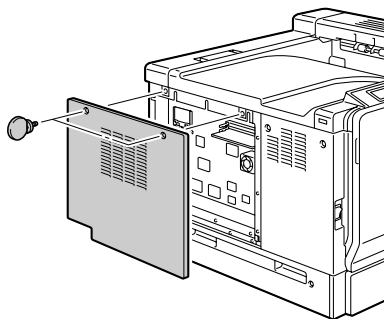
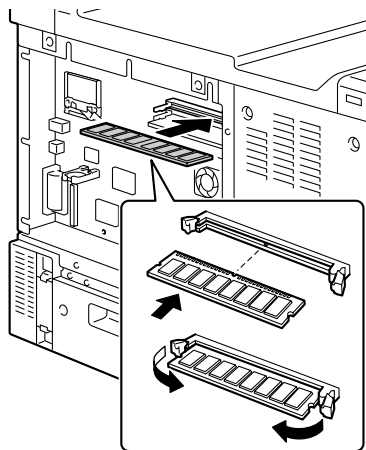
本プリンタには二つのメモリスロットがあり、片方のスロットには 256MB のメモリがあらかじめ装着されています。メモリは二つのスロットを使用して最大 1024MB（512MB + 512MB）まで拡張できます。

メモリ（DIMM）は、KONICA MINOLTA 純正品のメモリ（DIMM）をご使用ください。

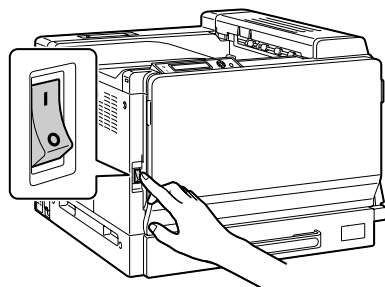
メモリの取り付けかた

ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.259）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し、左面のカバーを取り外します。

3 メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、留め金がロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。
メモリのコネクタ部分がスロットに合っていることを確認します。メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリが正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。

4 左面のカバーを取り付け、ネジを締めます。

5 インターフェースケーブルを接続します。

6 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

7 「印刷ﾒﾆｭｰ」ー「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、メモリの総量を確認します。

8 装着したメモリがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）を参照し、手動でオプションの認識を行ってください。

ハードディスクキットの取り付け

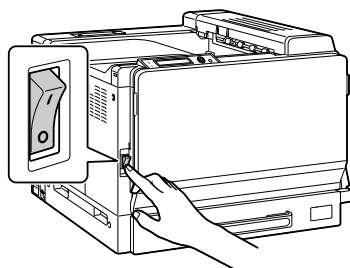
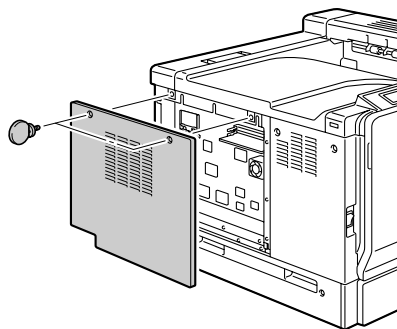
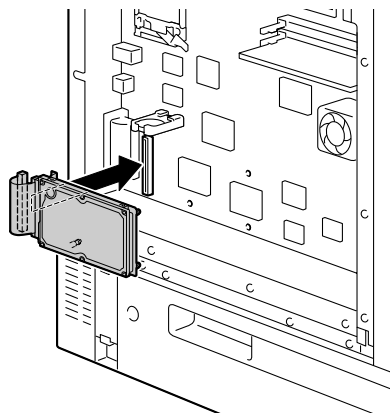
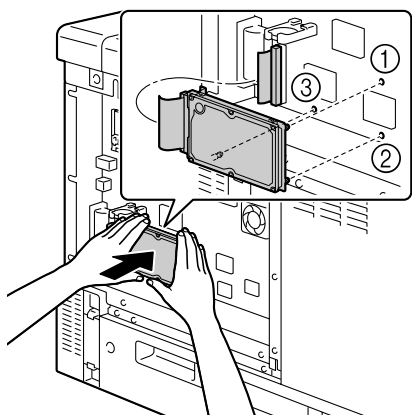
オプションのハードディスクキットを取り付けることで、ソート（部単位印刷）、ジョブの印刷 / 保存、フォント / フォーム / カラープロファイルのダウンロード、アカウントログ（印刷ジョブ情報）の保存が有効となります。

ユーザー使用可能エリアは 40 GB 中 18GB になります。

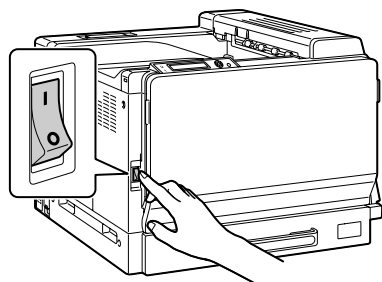
ハードディスクキットの取り付けかた

ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.259）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し、左面のカバーを取り外します。

3 ハードディスクのケーブルをコントローラボードのコネクタに差し込みます。

4 ハードディスクの取り付けピン（3 箇所）がコントローラボードの穴に入るように差し込み、ハードディスクをコントローラボードに固定します。

5 左面のカバーを取り付け、ネジを締めます。

6 インターフェースケーブルを接続します。

7 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

8 装着したハードディスクがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

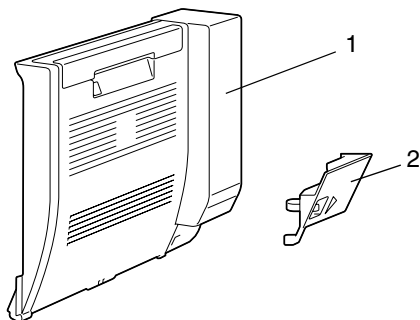
正しく認識されていない場合は、手動でインストール済みオプションに追加してください。詳しくは、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）をごらんください。

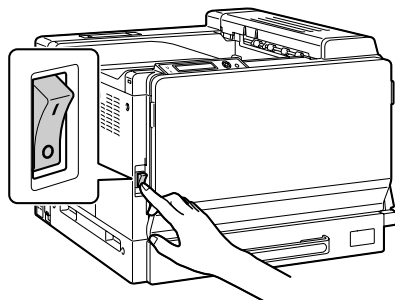
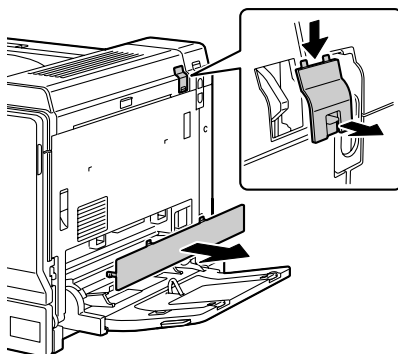
両面プリントユニットの取り付け

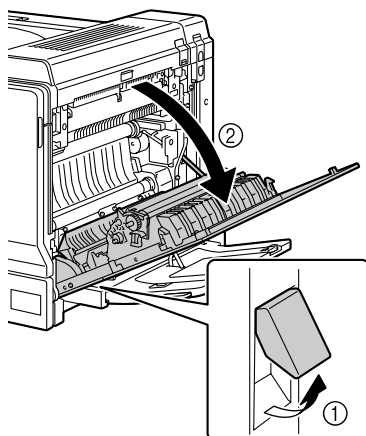
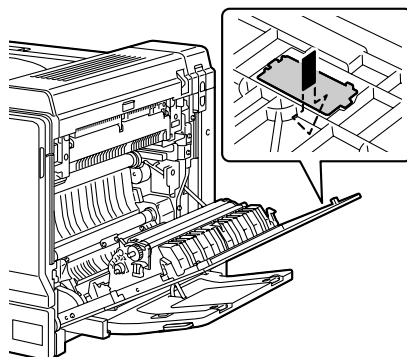
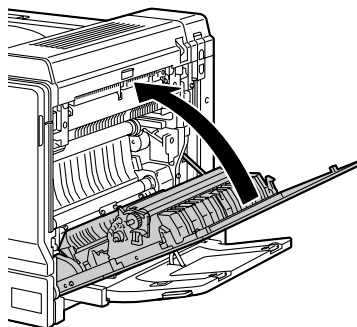
両面プリントユニットと十分なメモリが装着されていれば、両面印刷を行うことが可能です。詳しくは、「両面印刷」（p.175）をごらんください。

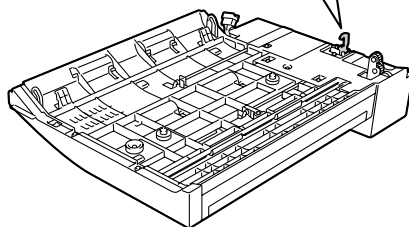
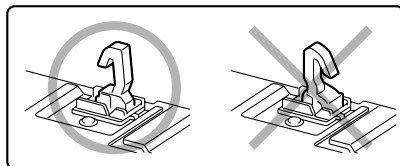
両面プリントユニットの構成

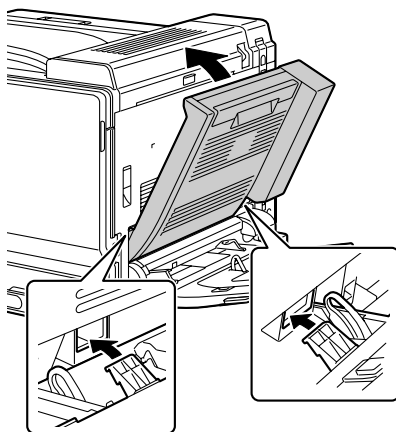
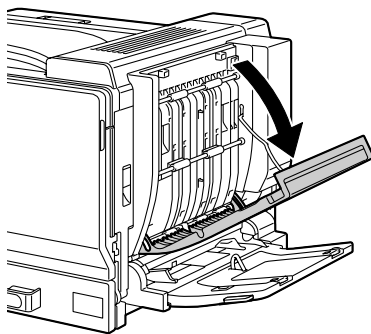
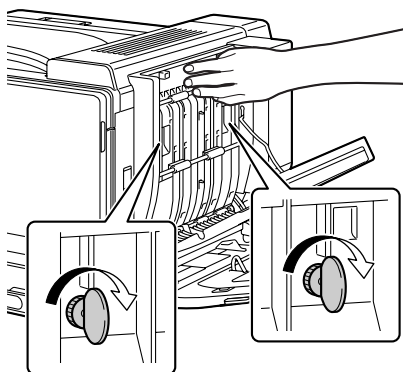
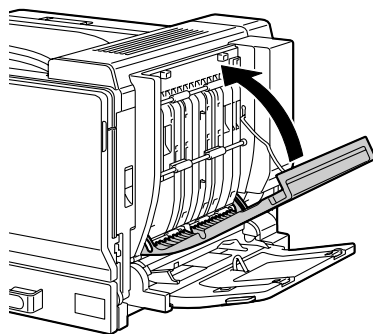
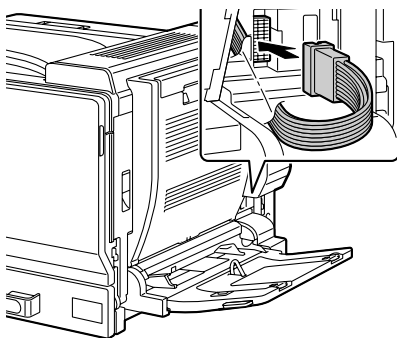
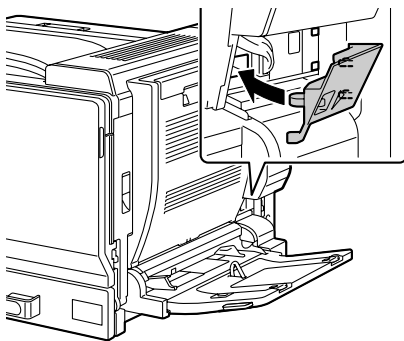
1　両面プリントユニット

2　コネクタカバー

両面プリントユニットの取り付けかた

1　プリンタの電源を切ります。

2 右側についているカバー（2 箇所）を取り外します。

3 レバーを引き（①）、右側カバーを開けます（②）。

右側カバーを開ける時は、必ずトレイ 1 を開いてから開けてください。

4 図のように、右側カバーの中にあるタブを押して、カバーを取り外します。

5 右側カバーを閉じます。

6 両面プリントユニットを用意します。

取付ける前に両面プリントユニットのフック位置が図のようになっているか確認してください。

7 図のように、両面プリントユニットの2箇所のタブを本体の取り付け用孔に差し込んで、両面プリントユニットを取り付けます。

両面プリントユニットは、確実に固定されるまで両手で支えてください。

8 両面プリントユニットの両面カバーを開けます。

9 両面プリントユニットを本体に押し付けて、2 個のネジで両面プリントユニットを本体に固定します。

10 両面プリントユニットの両面カバーを閉じます。

11 両面プリントユニットのケーブルを、本体のコネクタに差し込みます。

12 コネクタカバーを取り付けます。

給紙ユニットの取り付け

最大 3 つの給紙ユニット（トレイ 3/4/5）を取り付けることができます。それぞれの給紙ユニットには用紙を 500 枚までセットできます。

給紙ユニットの構成

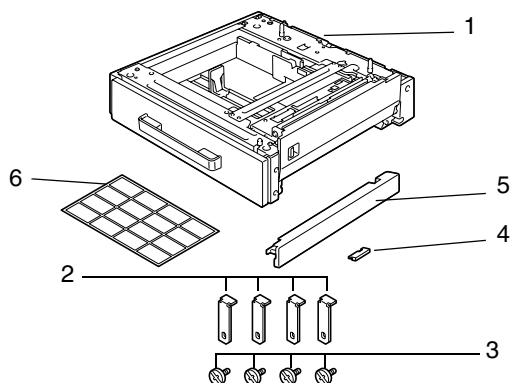
1 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）

2 固定板
  - 前面固定用（2 個）
  - 背面固定用（2 個）

3 ネジ（4 個）

4 カバー（上）

5 カバー（下）

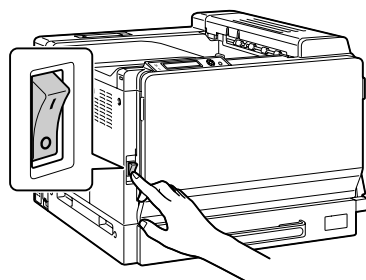
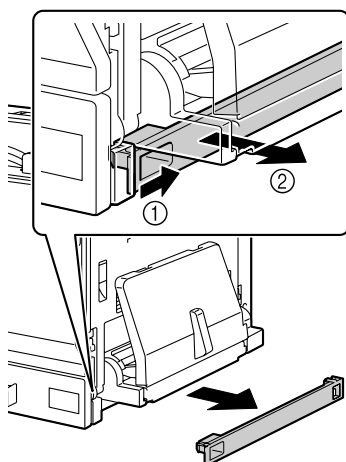
6 用紙サイズラベル

給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

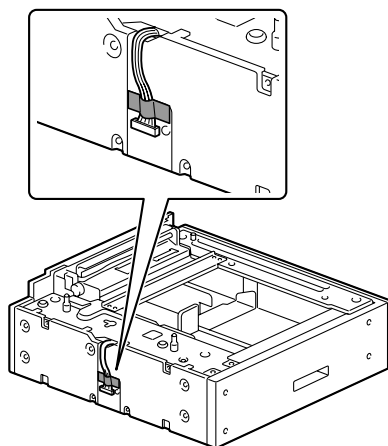
プリンタには消耗品が取り付けられているため、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

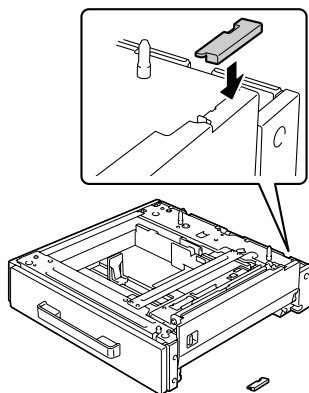
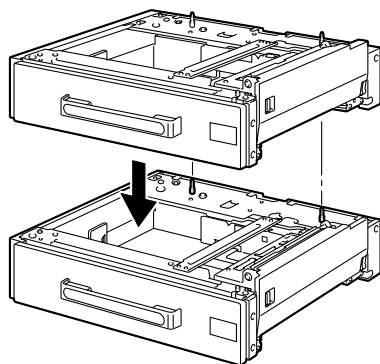
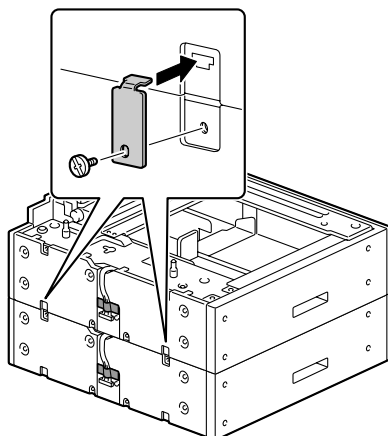
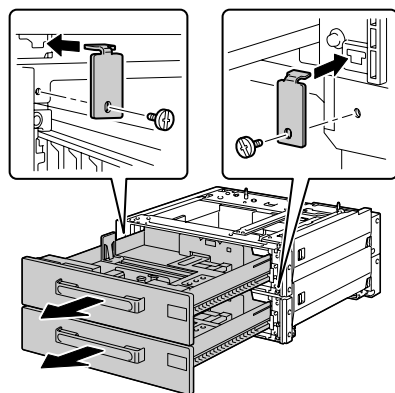
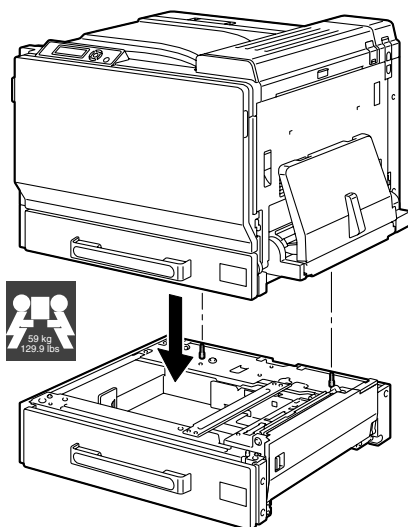
ご注意

給紙ユニットの取り付けは、プリンタをセットアップする前に行ってください。用紙、消耗品などが先にセットアップされると、プリンタは重くなり、給紙ユニットの取り付けがむずかしくなります。

1 プリンタの電源を切り、全てのケーブルを取り外します。

2 図のように、プリンタの右下のカバーを取り外します。
カバーの前部の穴に指を入れ、カバーを引き抜いて取り外します。

3 給紙ユニットを用意します。

 給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

 給紙ユニットが本体に接続されるまで、下側にテープで固定されたリレーハーネスを取り外さないでください。

4 二段目以降の給紙ユニットに、カバー（上）をつけます。

給紙ユニットをひとつだけ増設する場合は、カバー（上）はつけないでください。

5 給紙ユニットを複数増設する場合は、これらを重ねます。

6 ドライバーを使用して、背面 2 箇所に給紙ユニット固定板をネジ留めします。

7 トレーを引き出して、前面２箇所の給紙ユニット固定板をネジ留めします。

8 プリンタを数人で持ち、給紙ユニットと位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせて正しくセットします。

複数の給紙ユニットを取り付ける場合には、あらかじめこれらを積み重ね、固定板で固定しておいてください。

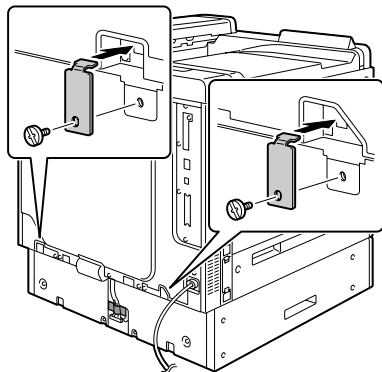
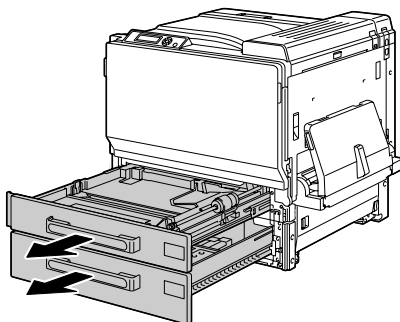
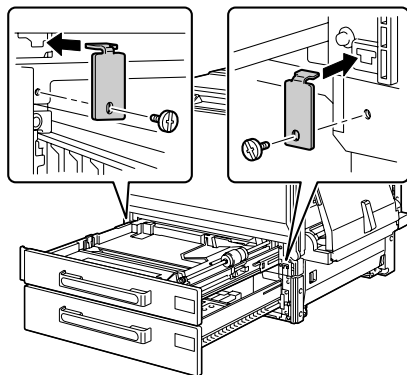
給紙ユニットにプリンタをセットする際には、機器の前面と背面の位置が合うようにセットしてください。

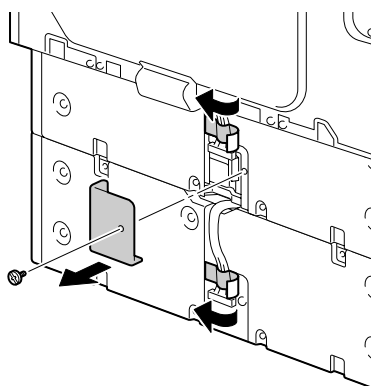
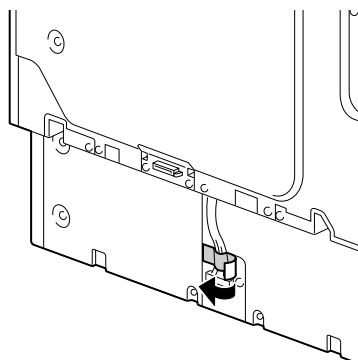
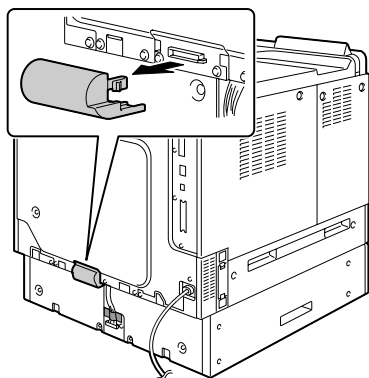
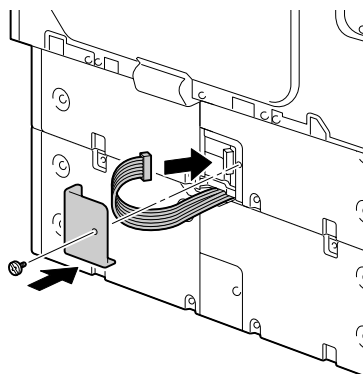
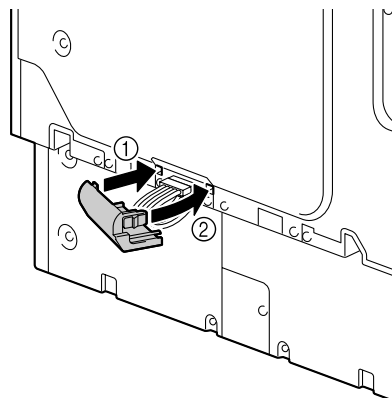
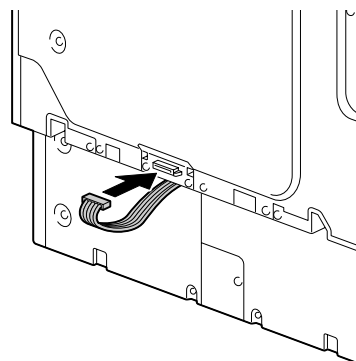
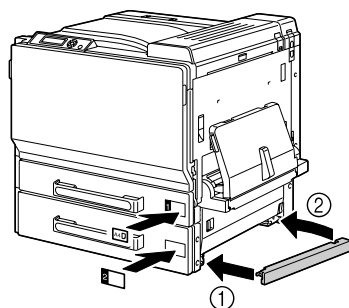
警告

本プリンタは消耗品を含めて約 59 kgの重量があります。プリンタを移動する場合は、必ず適切な人数で行ってください。

ご注意

プリンタを給紙ユニットに置く前に、プリンタの右下のカバーが取り外されたことを確認してください。カバーが取り外されていない場合には、プリンタ、または給紙ユニットが破損することがあります。

9 ドライバーを使用して、背面2箇所に給紙ユニット固定板をネジ留めします。

10 トレイを引き出します。

11 前面 2 箇所の給紙ユニット固定板をネジ留めします。

12 トレイを閉じます。

13 給紙ユニットの下側にテープで固定されたリレーハーネスを取り外します。続いて、プリンタのリレーハーネス接続スロットのカバーを取り外します。
複数の給紙ユニットを取り付ける場合には、すべてのユニットのリレーハーネスのテープと、接続スロットのカバーを取り外します。

14 リレーハーネスをスロットに接続します。複数の給紙ユニットを取り付ける場合には、各ユニットのリレーハーネスを、下側のスロットに接続します。
最後に、取り外したカバーを元に戻します。

15 給紙ユニットに添付されていたカバー（下）を、プリンタの右側に取り付けます。また、各給紙ユニットにセットする用紙サイズのラベルを貼ります。

16 装着した給紙ユニットがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、手動でインストール済みオプションに追加してください。詳しくは、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）をごらんください。

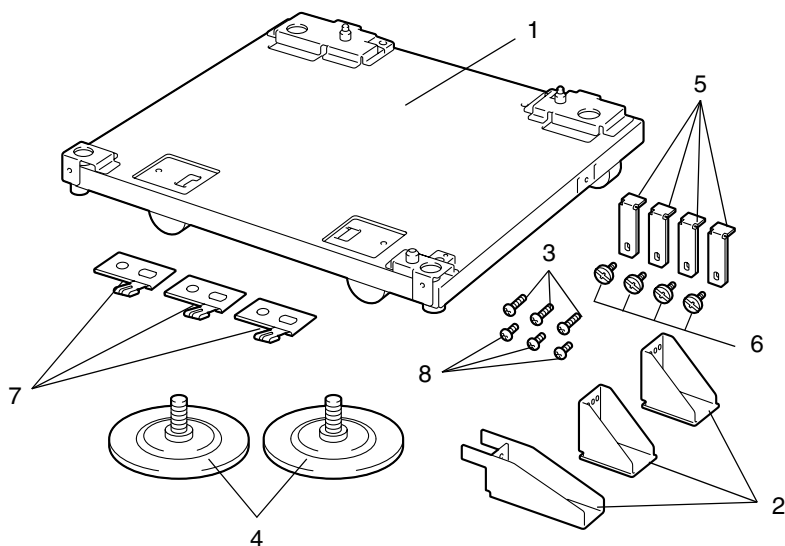
プリンタテーブル

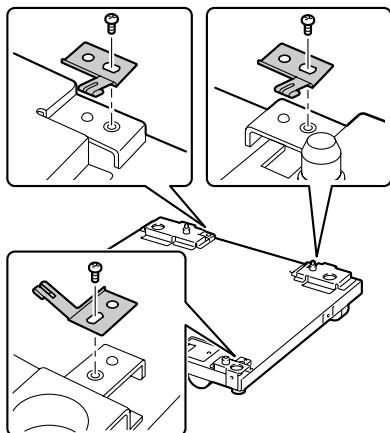
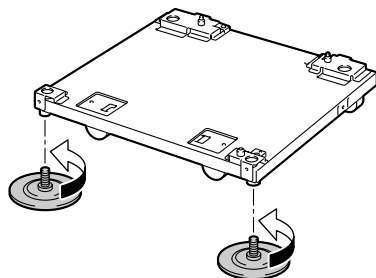
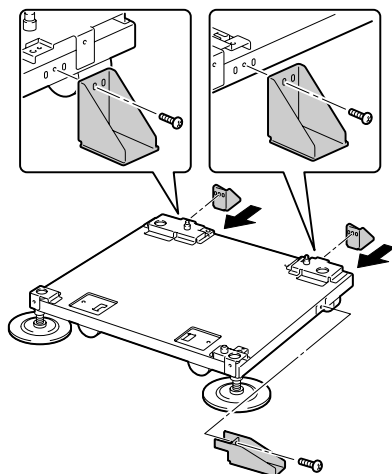
プリンタテーブルを取り付けると、プリンタの設置場所を変更する作業が容易に行えるようになります。

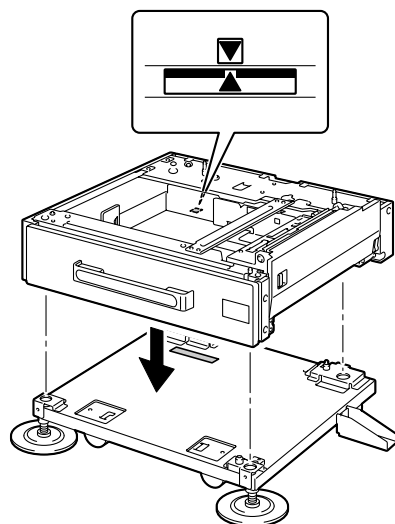
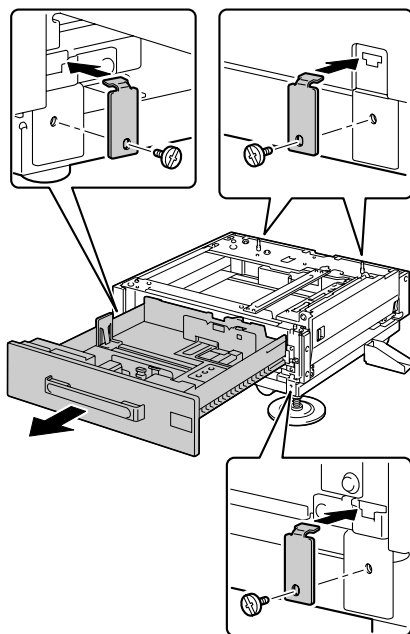
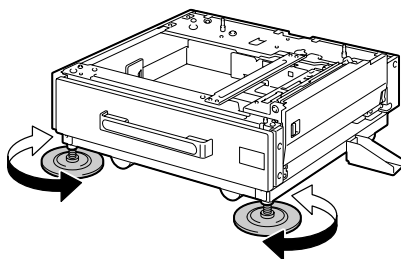
ご注意

プリンタテーブルを使用する場合、プリンタに給紙ユニットを取り付ける前に、プリンタテーブルと最下段の給紙ユニットの取り付けを行ってください。

キットの内容

1　プリンタテーブル
2　固定脚（3 個）
3　固定脚取り付けネジ（3 個）
4　アジャスタ（2 個）
5　連結部品（4 個）
6　連結部品取り付けネジ（4 個）
7　アース金具（3 個）
8　アース金具取り付けネジ（3 個）

プリンタテーブルの取り付け

1 3 個のアース金具を、プリンタテーブルにネジで取り付けます。

2 2 個のアジャスタを、プリンタテーブルにねじ込みます。

3 3 個の固定脚を、プリンタテーブルにネジで取り付けます。

4 最下段に設置する給紙ユニットを、プリンタテーブルに乗せます。

給紙ユニットの穴の内側に見える 2 つの ▼ を揃えて、位置合わせを行ってください。

5 プリンタテーブルと給紙ユニットを、連結部品とネジで固定します。
連結部品の取り付け位置は、プリンタテーブル前面に 2 箇所、背面に 2 箇所あります。

6 アジャスタを回して高さを調整し、プリンタテーブルが動かないように固定します。

ご注意

プリンタの設置場所を変えるとき以外は、必ずプリンタテーブルを固定してください。

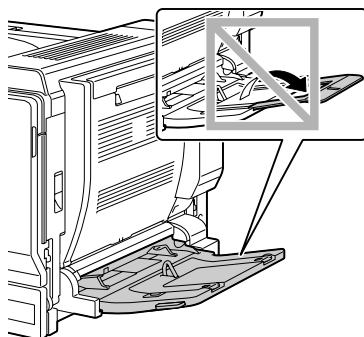
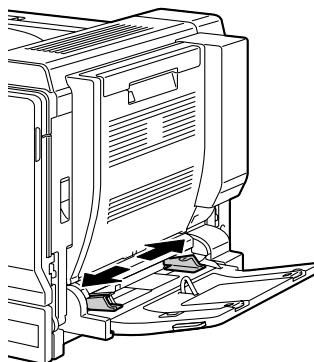
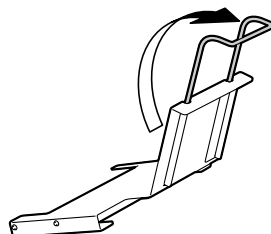
給紙ユニットをプリンタに取り付ける方法については、「給紙ユニットの取り付けかた」（p.270）をごらんください。

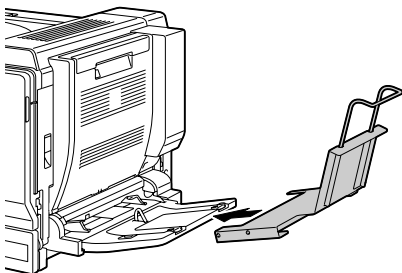
長尺用紙対応トレイ

長尺用紙対応トレイを取り付けると、長さ 1200mm までの長尺用紙をセットできます。

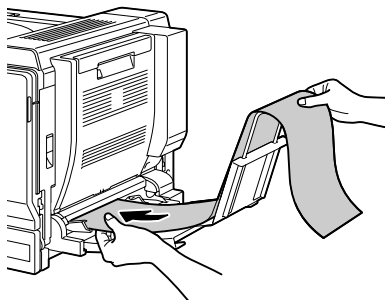
長尺用紙対応トレイの取り付け

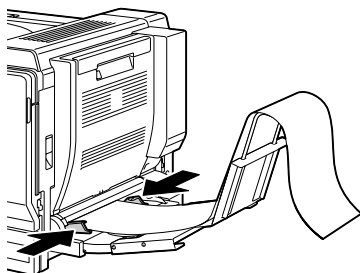
1 トレイ 1 を開きます。

トレイの延長部分は開かないでください。すでに開かれている場合は、閉じておきます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 長尺用紙対応トレイの用紙ガイドを起こします。

4 長尺用紙対応トレイをトレイ 1 に差し込みます。

長尺用紙対応トレイ裏面の爪がトレイ 1 の端に突き当たる位置まで、確実に差し込みます。

5 印刷したい面を下に向け、長尺用紙の先端を本体奥側にまっすぐに確実に押し当てセットし、用紙の後方を長尺用紙対応トレイの用紙ガイドに乗せます。

長尺用紙対応トレイには、最大で 10 枚までの長尺用紙をセットすることができます。

用紙の汚れを防ぐため、カールした用紙はセットしないでください。

6 長尺用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

用紙ガイドが長尺用紙の左右両端に確実に押し当てられていることを確認してください。

7 印刷を実行します。

プリンタドライバのカスタムサイズ設定で、セットした用紙に合わせた設定を行ってください。

排出された長尺用紙がプリンタから滑り落ちたり、プリンタの紙詰まりの原因となる場合がありますので、排出された用紙は 1 枚ずつ取り出してください。

長尺用紙の印刷が終了したら、必ず長尺用紙対応トレイを取り外し、安全な場所に保管しておいてください。